

公益社団法人 地盤工学会
四国支部

平成 28 年度 支部総会 議案書

開催日：平成 28 年 4 月 22 日（金）

会場：レクザムホール 大会議室

（高松市玉藻町 9-10）

目 次

特別会員表彰

平成 27 年度 四国支部賞 受賞業績（者）

第 1 号議案 平成 27 年度 支部事業報告（案）	1
第 2 号議案 平成 27 年度 支部収支決算報告（案）	13
第 3 号議案 平成 28 年度 支部役員（案）	17
第 4 号議案 平成 28 年度 支部事業計画（報告）	21
第 5 号議案 平成 28 年度 支部収支予算（報告）	25
〔参考資料〕平成 28 年度以降の事業予定等	27
四国支部規定	28

功 労 章

長谷川 修一

香川大学工学部安全システム建設工学科

以上

特別会員表彰（3 件）

鹿島建設株式会社四国支店	4 級（50 年）
復建調査設計株式会社四国支社	4 級（35 年）
株式会社四電技術コンサルタント	4 級（35 年）

計 3 社

以上

永年にわたる正会員への感謝状贈呈

中村 和弘

株式会社第一コンサルタンツ

以上

平成 27 年度 四国支部賞 受賞業績（者）

1. 技術賞（応募件数 0 件）

2. 技術開発賞（応募件数 2 件、受賞件数 2 件）

受賞業績名	会員	受賞者
原位置透水試験「水華」を用いた測定時間短縮化方法について	正 正 正	能野 一美（(株)四電技術コンサルタント） 久保 慶徳（香川高等専門学校） 向谷 光彦（ " ）
グラウンドアンカー工の簡易材料確認試験	正 正	市橋 善治（(株)相愛） 常川 善弘（ " ）

3. 研究・論文賞（応募件数 2 件、受賞件数 1 件）

受賞業績名	会員	受賞者
常時微動観測による地盤の堆積構造と建物倒壊推定法の提案	正 学 正 正	原 忠（高知大学） 石川 諒（ " ） 北村 暢章（(株)第一コンサルタンツ） 山田 雅行（(株)ニュージェック）

4. 功績賞（応募件数 1 件、受賞件数 1 件）

氏名	勤務先・役職	会員	業績等
土居 正信	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授	正	地盤工学会四国支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

以上

第 1 号議案 平成 2 7 年度 支部事業報告(案)

平成 27 年度 支部事業報告（案）

1. 総会，役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 平成 27 年 4 月 17 日（金）16:00～17:00 高松テルサ（高松市）

- ① 平成 26 年度 特別会員、支部賞表彰
- ② 平成 26 年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成 26 年度 支部収支決算報告（案），監査報告
- ④ 平成 27 年度 支部役員（案）
- ⑤ 平成 27 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 27 年度 支部収支予算

(2) 評議員会

第 1 回 平成 27 年 4 月 17 日（金）14:30～15:40 高松テルサ（高松市）

- ① 平成 27 年度 支部役員（案）
- ② 平成 26 年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成 26 年度 支部収支決算報告（案），監査報告
- ④ 平成 26 年度 特別会員、支部賞
- ⑤ 平成 27 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 27 年度 支部収支予算

第 2 回 平成 28 年 2 月 17 日（火）～2 月 26 日（火）メール審議

- ① 平成 27 年度 支部事業報告
- ② 平成 27 年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成 28 年度 支部役員（案）
- ④ 平成 28 年度 支部事業計画（案）
- ⑤ 平成 28 年度 支部予算（案）

(3) 幹事会

第1回 平成27年6月25日(木) 15:30～17:00 高松市(サンポートホール高松)

- ① 平成27年度 四国支部役員
- ② 地盤工学会第57回通常総会
- ③ 平成27年度 第4回理事会議事録
- ④ 平成27年度 支部交付金(前期)の受入れ
- ⑤ 平成27年度 四国支部事業計画
- ⑥ 「落石対策工の設計法と計算例」講習会
- ⑦ 平成27年度 地盤工学会四国支部技術研究発表会 論文募集
- ⑧ 徳島大学 地盤と防災・環境に関するシンポジウム
- ⑨ 愛媛大学 学術講演会
- ⑩ 議事録(ネパール大地震調査団)

第2回 平成27年11月17日(火)～平成27年11月27日(金) メール審議

- ① 本部理事会(第5回、第6回)
- ② 本部支部連絡会議
- ③ 平成27年度支部事業報告(中間)
- ④ 平成27年度 支部交付金(後期)の受入れ
- ⑤ 平成27年度 地盤工学会賞候補募集
- ⑥ 平成27年度 事業企画賞候補者選出依頼
- ⑦ その他

第3回 平成28年2月16日(火) 13:30～15:00 高松市(サンポートホール高松)

- ① 本部理事会報告(第10回)
- ② 平成27年度 支部事業報告
- ③ 平成27年度 決算見込み報告
- ④ 平成28年度 支部役員(案)
- ⑤ 平成28年度 支部事業計画(案)
- ⑥ 平成28年度 支部予算(案)
- ⑦ 平成27年度 支部賞候補募集

2. 支部主催事業

(1)「落石対策工の設計法と計算例」講習会 担当：NEXCO 西日本

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 27 年 6 月 12 日（月）10：20～17：00
- 場 所：サンポートホール高松 61 会議室（香川県高松市サンポート 2-1）
- 内容・講師：
 - ・落石の運動 右城猛 株式会社第一コンサルタンツ
 - ・落石シミュレーション 楠本雅博 株式会社第一コンサルタンツ
 - ・落石対策工の選定 加賀山肇 日本プロテクト株式会社
 - ・落石予防工の設計 加藤十良 NPO 法人岐阜環境防災技術研究会
 - ・ポケット式落石防護網の設計 筒井秀樹 株式会社ロイヤルコンサルタント
 - ・ポケット式落石防護網の数値解析 木下尚樹 愛媛大学大学院理工学研究科
 - ・落石防護柵の設計 吉田博 金沢大学名誉教授
 - ・落石防護擁壁の設計 右城猛 株式会社第一コンサルタンツ
 - ・落石事例と落石調査 上野将司 応用地質株式会社
 - ・Q&A 須賀幸一 株式会社芙蓉コンサルタント
- 参加者：118 名

(2) 平成 27 年度学術講演会 担当：高知大学

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 27 年 9 月 29 日（火）13：00～17：00
- 場 所：高知会館 飛鳥の間
- 内容・講師：
 - ・「液状化に関する実務に役に立つ最新情報(仮)」
中央大学理工学部 名誉教授 國生剛治
 - ・「高知海岸堤防の耐震・液状化対策」
国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所事業対策官 内山俊浩
 - ・「高知市街地内の河川における地震・津波対策」
高知県土木部河川課主幹 伊藤直幸
- 参加者：133 名

(3) ネパール地震調査団

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 27 年 10 月 2 日（金）～8 日（木）
- 行 程：
 - 10 月 4 日（日）チャイナロード被災状況調査
 - 10 月 5 日（月）ポカラ方面災害調査
 - 10 月 6 日（火）ネパール技術者とディスカッション会議
- 参加者：4 名

(4) 平成 27 年度技術研究発表会 担当：香川大学

○主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部

○日 時：平成 27 年 11 月 19 日（木）～20 日（金）

○会 場：ホテルセカンドステージ 高松市塩江町上西乙 1118-8 電話 087-893-1100

○優秀発表者名

セッションⅠ 高知大学大学院 石川 諒

セッションⅡ 香川高等専門学校 多田 有汰

セッションⅢ 愛媛大学理工学研究科 前田 健太

セッションⅣ 株式会社地研 中島 昇

セッションⅤ 香川高等専門学校 角野 充

○プログラム：平成 27 年 11 月 19 日（木）

10:40～12:00 セッションⅠ 調査 （座長：齋藤 和（㈱四電技術コンサルタント））

1. ため池漏水調査における二次元比抵抗探査の活用事例

○中根久幸（㈱地研）、中島 昇、森 直樹

2. 海岸部道路における地下レーダー探査の実例

○北村暢彰（㈱第一コンサルタンツ）、奥村昌史、谷口三洋

3. 住宅密集地における住宅と地盤の常時微動観測

原 忠（高知大学）、○石川 諒（高知大学）、山田雅行（㈱ニュージェック）、竹澤請一郎、羽田浩二、市川雅敏（中土佐町）、山崎正明

4. 常時微動測定による丸亀城石垣部の振動特性の把握

○石垣隼人（香川大学）、山中 稔、長谷川修一、田中達也

5. 静電容量式水位センサー精度に及ぼす水温との塩分濃度の影響

○木下知樹（徳島大学）、佐々木 諒、森 葵 璃沙、上野勝利

6. 原位置透水試験の測定時間短縮化方法について

○能野一美（㈱四電技術コンサルタント）、久保慶徳（香川高等専門学校）、尾崎祥太郎、向谷光彦

7. ニューマチックケーソンの合理的施工にむけた取組み

○森田 篤（前田建設工業㈱）、袋井孝洋、坂藤勇太

8. 2014 年長野県北部地震で崩壊した混合擁壁の現地調査と室内試験

原 忠（高知大学）、○品川大地（高知大学）、ハザリカ・ヘマンタ（九州大学）、栗林健太郎（㈱エイト日本技術開発、坂部晃子、竹澤請一郎（㈱ニュージェック）

14:40～16:00 セッションⅡ 地盤材料 （座長：鈴木麻里子（香川高等専門学校））

9. 部分排水効果を考慮した礫質土の繰返しせん断特性

原 忠（高知大学）、○山崎直哉、中田悠貴、ハザリカ・ヘマンタ（九州大学）、西村謙吾、バブラー・チョードリー

10. 平均粒径の違いが砂礫質土の動的特性に及ぼす影響

原 忠（高知大学）、○中田悠貴、山崎直哉

11. EFFECTS OF CONFINING PRESSURE ON LIQUEFACTION RESISTANCE OF SAND IMPROVED WITH ENZYMATIC CALCITE PRECIPITATION

○Minson Simatupang（愛媛大学大学院）、岡村未対

12. 動的遠心模型実験による密度の異なる飽和砂地盤の液状化特性

○齋藤 和（㈱四電技術コンサルタント）、神田幸正（㈱ビュー設計）、中川頌将（㈱基礎設計コンサルタント）、中島 昇（㈱地研）、中村雅夫（㈱芙蓉コンサルタント）、西本健一（㈱愛媛建設コンサルタント）、岡村未対（愛媛大学理工学研究科）

13. PS 灰を利用した地盤改良材の開発研究

○足立望美（愛媛大学大学院）、木下尚樹、安原英明

14. 津波堆積物分別土の木くず混入量が一面せん断強さに及ぼす影響
○多田有汰 (香川高等専門学校), 小竹 望, 山中 稔 (香川大学工学部)
15. 海岸埋立地における丸太打設液状化対策工法の地盤改良効果の検証 その 1 施工地点の概要
○三村佳織 (高知大学), 原 忠, 小林かなほ, 沼田淳紀 (飛島建設㈱), 三輪 滋
16. 海岸埋立地における丸太打設液状化対策工法の地盤改良効果の検証 その 2 埋設機器の分析結果
原 忠 (高知大学), ○小林かなほ (高知大学), 三村佳織, 沼田淳紀 (飛島建設㈱), 三輪 滋

16:10~17:50 セッションⅢ 斜面・地すべり・岩石 (座長: 中根久幸 (地研))

17. DEM を用いた地すべり地形半自動抽出手法の検討
○野々村敦子 (香川大学工学部), 長谷川修一
18. 地すべり背後斜面の安定性評価ー地すべりの頭部形状に着目した評価事例ー
○藤川 聡 (㈱四電技術コンサルタント), 田村栄治, 菅原大介, 内田純二 (西日本高速道路㈱四国支社)
19. 切土のり面の緩み域評価ー切土小段の変状に着目してー
○田村栄治 (㈱四電技術コンサルタント), 藤川 聡, 菅原大介, 内田純二 (西日本高速道路㈱四国支社)
20. 地すべり災害調査におけるパイプひずみ計によるすべり面判定事例
○市橋義治 (相愛)
21. 四国の高速道路のり面における健全度評価手法の提案
紙田直充 (西日本高速道路㈱四国支社), 内田純二, ○西川祐平
22. プロパント処理した岩石き裂の透水特性評価
○菅野 巧 (愛媛大学大学院), 安原英明, 木下尚樹
23. 熱・水・応力・化学連成解析モデルによる岩盤の長期透水特性予測
○緒方 奨 (愛媛大学大学院), 安原英明, 木下尚樹
24. 気液二相流解析による岩盤空洞周りのガス移行挙動評価
○石中 亮 (愛媛大学大学院), 安原英明, 木下尚樹
25. 強アルカリ水の影響を受けた花崗岩不連続面の組成分析
○前田健太 (愛媛大学大学院), 安原英明, 木下尚樹
26. 循環型地域環境に配慮した生分解性樹脂コンクリートに関する基礎的研究
○鈴木麻里子 (香川高等専門学校), 佐藤隆治 (㈱サンレック, 中村誠 (キザイテクト㈱), 吉村睦 (サンコーコンサルタント㈱), 河端俊典 (神戸大学大学院)

○プログラム: 平成 27 年 11 月 20 日 (金)

9:00~10:20 セッションⅣ 地震・動的問題 (座長: 小林昌弘 (基礎建設コンサルタント))

27. 既知条件の違いが地震時の沈下量推定に及ぼす影響
○尾川七瀬 (㈱技研製作所), 押谷 優 (㈱相愛), 北村暢章 (㈱第一コンサルタンツ), 原 忠 (高知大学)
28. 四国の港湾において SPGA モデルを適用する際の非超過率について
○小泉勝彦 (四国地方整備局), 西村 学 (パシフィックコンサルタント㈱), 森崎 啓, 中田光彦, 野津 厚 (国立研究開発法人港湾空港技術研究所)
29. Increase in liquefaction resistance due to volumetric strain during shaking
○ Fred Charles Nelson (愛媛大学大学院), 岡村未対
30. 液状化解析における熟練度の影響
○中島 昇 (㈱地研), 嶋本栄治 (㈱第一コンサルタンツ), 中根久幸 (㈱地研)
岡林宏二郎 (高知工業高等専門学校), 原 忠 (高知大学)
31. 高知県での河川災害復旧設計業務について
○島村圭太 (㈱第一コンサルタンツ)

32. 東日本大震災で被災した河川堤防 28 断面を対象とした ALID による変形解析
○陣内尚子（愛媛大学工学部）、岡村未対
33. GIS 解析による 2015 年ネパール地震時斜面崩壊の特徴
○浅野太揮（愛媛大学工学部）、ネトラ P. バンダリ、矢田部龍一

10:30～11:50 セッションⅤ 災害・一般 （座長：尾川七瀬（技研製作所））

34. 粘性土の残留状態におけるせん断クリープ特と力学モデル
○宇崎晋弘（愛媛大学工学部）、ネトラ P. バンダリ、酒井啓太（広島県）
35. 柔な受圧板の支圧抵抗を模した表面基礎の支持力特性
○角野 充（香川高等専門学校）、小竹 望、沓澤 武（日本基礎技術㈱）
36. グラウンドアンカー工の健全性評価における簡易評価手法について
○弘田朋志（㈱相愛）、常川善弘、谷崎優也、市橋義治、酒井俊典（三重大学大学院）
37. 地山補強土工のり面の維持管理手法の事例
○山本 温（㈱愛媛建設コンサルタント）、相原敏和（愛媛県西予土木事務所）、増田 信（㈱愛媛建設コンサルタント）
38. 災害特性に応じた防災マップの作成支援による地域住民の防災意識の変化
○阿部龍矢（香川大学大学院）、長谷川修一、野々村敦子
39. 地盤災害情報マップ（D-M a p）の改良について
紙田直充（西日本高速道路㈱四国支社）、西川祐平、内田純二、○渡邊健一郎（西日本高速道路エンジニアリング四国㈱）、
40. 庵治石採石ブリの宅地地盤材料への適用に向けた平板載荷試験
○山中 稔（香川大学工学部）、長谷川修一、小竹 望（香川高等専門学校）、向谷光彦
41. 庵治石採石ブリ置換による液状化抑制効果に関する振動台模型実験
○小竹 望（香川高等専門学校）、向谷光彦、長谷川修一（香川大学工学部）、山中 稔、高井龍三郎（香川高等専門学校）

○発表者：41 名

○参加者：48 名

(5) 平成 27 年度見学会 担当：香川大学

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 27 年 11 月 20 日(金) 13:00～16:00
- 現場見学：香川県詫川ダム建設工事現場
- 参加者：47 名

(6) ネパール調査団 報告会

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 27 年 11 月 19 日(金) 13:00～14:30
- 場 所：ホテルセカンドステージ
- 内 容：
- ・ 四国支部調査団と調査の概要
 - ・ ネパール地震被害概要
 - ・ 地盤被害（特に液状化）について
 - ・ 斜面被害について
 - ・ 斜面被害と文化材被害の報告
 - ・ 山岳道路の被害について
- 渦岡良介（徳島大学）
ネトラ P. バンダリ（愛媛大学）
岡村未対（愛媛大学）
長谷川修一（香川大学）
小林昌弘（基礎建設コンサルタント）
西川 徹（第一コンサルタンツ）
- 参加者：60 名

(7) 地盤工学会四国支部 地盤地震防災研究委員会（平成 27 年度活動報告）

(7-1) 動的遠心模型実習

- 日 時：平成 27 年 5 月 28 日（木）～29 日（金）
- 場 所：愛媛大学工学部 岡村研究室
- 内 容：
 - ①遠心模型実験の概要（講義）
 - ②遠心模型実験の実習
 - ③データ整理，講評
- 参加者：7 名

(7-2) 第 14 回地盤地震防災研究委員会

- 日 時：平成 27 年 8 月 24 日（月）15：00～17：00
- 場 所：サンポートホール高松 52 会議室
- 議 題：
 - ①愛媛大学での遠心模型実験の報告
 - ②高知大学での三軸試験の計画
 - ③今後の活動計画
- 参加者：21 名

(5-3) 繰返し三軸非排水三軸試験一斉試験

- 日 時：平成 27 年 10 月 26 日（月）～27 日（火）
- 場 所：高知大学農学部 原研究室
- 内 容：
 - ①繰返し三軸非排水三軸試験（講義）
 - ②繰返し三軸非排水三軸試験の実習
 - ③データ整理，講評
- 参加者：11 名

(5-4) 第 15 回地盤地震防災研究委員会

- 日 時：平成 28 年 1 月 15 日（金）10：00～12：00
- 場 所：高松市生涯学習センター（まなび CAN） 小研修室
- 議 題：
 - ①繰返し三軸非排水三軸一斉試験の報告
 - ②今後の活動計画
- 参加者：18 名

3. 各県地盤工学会

(1) 徳島県地盤工学会

1) 平成 27 年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム

○日 時：平成 27 年 7 月 31 日（金） 13:00～17:00

○場 所：徳島大学 工業会館 メモリアルホール

○特別講演内容：

特別講演 1「本県における社会資本整備の現状と課題」

徳島県 県土整備部 建設管理課長 九十九 聡

特別講演 2「大地震と豪雨による河川堤防の被害の諸問題とその解析」

京都大学名誉教授 岡 二三生

○一般発表：8 編

○参加者：40 名（一般 37 人・学生 3 人）

2) 第 1 回 特別講演会

○日 時：平成 28 年 1 月 22 日（金） 15:30～17:00

○場 所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）会議室 6（5 階）

○内 容：

特別講演「土と水のかかわりの再整理と甚大化する地盤災害への備え」

名古屋工業大学 教授 前田 健一

○参加者：30 名（一般 19 人・学生 11 人）

(2) 香川県地盤工学会

I. 主催事業

1) 第 1 回役員会

○日 時：平成 27 年 7 月 16 日（木）13:30～14:30

○場 所：香川大学工学部

○主な審議事項：平成 27 年度事業計画について

○参加者数：12 名

2) 第 1 回学術講演会

○日 時：平成 27 年 10 月 29 日（木）14:30～17:00

○場 所：（香川県国際交流会館）

○会 費：1,000 円（資料代を含む）

○内 容：

①環境に配慮した土木材料に関する研究事例の紹介

香川高等専門学校 鈴木麻里子

②廃棄物埋立地での物理探査の適用例

香川大学工学部 山中 稔

③土質材料開発における資源循環への取り組み

香川高等専門学校 小竹 望

○参加者数：20 名

3) 第2回学術講演会

○日 時：平成28年3月3日（木）14：30～17：00

○場 所：香川県立ミュージアム 研修室

○会 費：1,000 円（資料代を含む）

○内 容：

①2015 年鬼怒川決壊水害で明らかになった地盤工学的課題と役割
茨城大学工学部 村上 哲

②香川高専での教育研究を振り返って
香川高等専門学校 土居正信

○参加者数：43 名

4) 第2回ネパール地震災害報告会

○日 時：平成28年3月26日（土）14:00～16:00

○場 所：香川大学工学部講義棟 6201 講義室

○内 容：

①2015 年ネパール地震災害の特徴
香川大学工学部教授 長谷川修一

②2015 年ネパール地震による伝統建造物の被害
香川大学工学部講師 宮本 慎宏

③2015 年ネパール地震災害からの復興と防災教育の課題
ネパール国国會議員（元教育大臣）ガンガラル・トゥラダル博士

○参加者数：42 名

II. 共催事業

1) 香川高専イブニングセミナー「現場で役立つ三軸試験の操作と実務」

○主 催：香川高等専門学校

○共 催：（公社）地盤工学会四国支部香川県地盤工学会

○日 時：平成27年9月30日（水） 14:00～16:00

○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内

○内 容：①三軸試験で土の強度定数 c , ϕ を調べる意義
②三軸試験機の基本操作と適用
③三軸試験機による液状化強度とは

○講 師：一般財団法人地域地盤環境研究所 本郷隆夫，赤井俊文，平野浩二
香川高等専門学校 向谷光彦，鈴木麻里子，久保慶徳

○参加者数：12 名

2) 実践的な原位置透水試験法（基本コース）講習会

○主 催：香川高等専門学校，（公財）かがわ産業支援財団

○共 催：（公社）地盤工学会四国支部香川県地盤工学会

○日 時：平成27年10月16日（金） 9:30～16:30

○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内

○内 容：①室内モデル地盤における浸透現象の把握
②屋外における原位置透水試験の実施
③地盤工学会方式マリ奥特サイフォンの基本原理，操作
④表計算ソフトを用いたデータ解釈，演習

○講 師：（株）四電技術コンサルタント 能野一美，古川修三
香川高等専門学校 向谷光彦，鈴木麻里子，久保慶徳

○参加者数：16 名

3) 実践的な原位置透水試験法（応用コース）講習会

- 主 催：香川高等専門学校、（公財）かがわ産業支援財団
- 共 催：（公社）地盤工学会四国支部香川県地盤工学会
- 日 時：平成 28 年 1 月 21 日（木）9：20～16：30
- 場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内
- 内 容：①原位置透水試験法による浸透現象の理論と実務
②サンプリングと水位測定ができる新しいスウェーデン式サウンディング試験法
③屋外における原位置透水試験とスウェーデン式サウンディング試験の実際
④表計算ソフトを用いたデータ解釈、演習
- 講 師：（株）四電技術コンサルタント 能野一美，古川修三，久保慶徳
ハイスピードコーポレーション（株）木戸崇之，門田譲和，久保慶徳
香川高等専門学校 向谷光彦
- 参加者数：15 名

Ⅲ. 後援事業

1) 大規模地震時の災害廃棄物の処理に関する講演会

- 主 催：香川大学社会連携・知的財産センター技術交流会
- 日 時：平成 27 年 6 月 12 日（金） 14：30～16：00
- 場 所：香川大学工学部キャンパス内，社会連携・知的財産センター
- 内 容：
 - ①津波到達高さに応じた津波災害廃棄物の発生量の推定について
香川大学工学部 山中 稔
 - ②東日本大震災での災害廃棄物および津波堆積物の処理と活用の実際
応用地質（株）地球環境事業部 岩下信一
- 参加者数：38 名

(3) 高知県地盤工学会

1) 第 37 回（平成 27 年度）高知県地盤工学会 講演会

- 日 時：平成 27 年 7 月 3 日 13：20～16：50
- 会 場：高知ちばさんセンター（高知市布師田 3992-2）
- 内 容：
 - 「奈半利川上流の土石流対策（仮題）」
高知県防災砂防課
 - 「落石対策工の設計法と計算例について（仮題）」
株式会社第一コンサルタンツ 右城 猛
- 参加者：43 名

2) 第 3 回高知県地盤工学会「若手の会」（勉強会）

- 日 時：平成 27 年 7 月 24 日 16：00～18：00
- 会 場：高知城ホール（高知市丸ノ内 2-1-10）
- 内 容：
 - 「土質試験についてのエトセトラ（仮題）」
応用地質株式会社エンジニアリング本部コアラボ試験センター 畠山 正則
- 参加者：42 名

3) 第 38 回(平成 27 年度) 高知県地盤工学会 現地見学会

○日 時：平成 28 年 1 月 27 日 13:30～15:30

○場 所：国道 55 号 高知東部自動車道 高知南国道路

○内 容：

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所管轄工事の現場見学会

(南海地震発生時には、緊急輸送路としての使用も計画されている高知南国道路の施工状況を見学)

高知市砂地(サンピア付近)：橋梁下部工事(オープンケーソン)

南国市物部(空港インター線付近)：コンクリート橋上部、舗装工事

○参加者：39 名

(4) 愛媛県地盤工学会

I. 主催行事

1) 愛媛県地盤工学会学術講演会 I

○日 時：平成 27 年 7 月 15 日(水) 15:00～16:30

○場 所：愛媛大学校友会館サロン

○内 容：

トンネルの維持管理の現状と研究事例の紹介

(公財) 鉄道総合技術研究所 津野 究

○参加者：46 名

2) 愛媛県地盤工学会学術講演会 II

○日 時：平成 27 年 11 月 10 日(火) 10:30～12:00

○場 所：愛媛大学工学部 2 号館 2 階 E221 号室

○内 容：

1. 高レベル放射性廃棄物地層処分の現状と研究事例の紹介

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 澤田 淳

2. 放射性廃棄物処分に關する数値解析技術

愛媛大学理工学研究科 准教授 安原 英明

(公財) 鉄道総合技術研究所 津野 究

○参加者：43 名

3) 愛媛県地盤工学会学術講演会 III

○日 時：平成 27 年 12 月 14 日(月) 16:00～17:30

○場 所：愛媛大学校友会館サロン

○内 容：

Application of biomineralization in building materials

(建設材料におけるバイオミネラリゼーションの応用)

East China Normal University Dr. Varennyam ACHAL

(公財) 鉄道総合技術研究所 津野 究

○参加者：38 名

Ⅱ．共催行事

1) ネパール地震災害調査報告会

- 主 催：愛媛大学防災情報研究センター
- 共 催：地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学研究会
- 日 時：平成 27 年 7 月 7 日(火) 13:30～15:00
- 場 所：愛媛大学校友会館サロン
- 内 容：
 - 1. ネパール地震復興調査研究寄付金によるネパール地震復興への活動
愛媛大学防災情報研究センター長 矢田部龍一
 - 2. ネパール地震国際緊急援助隊医療者が見たネパール地震災害
愛媛大学医学部非常勤講師 前川聡一
 - 3. ネパール地震による山間地の斜面災害
愛媛大学大学院理工学研究科准教授 ネットラ P.バンダリ
- 参加者：45 名

Ⅲ．後援行事

1) 「ネパール地震被害調査報告会(第 3 回)」

- 主 催：愛媛大学防災情報研究センター
- 後 援：地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学研究会
- 日 時：平成 27 年 9 月 28 日(月) 15:00～17:00
- 場 所：愛媛大学社会連携推進機構 研修室
- 内 容：
 - Engineering Geological Consequences of Gorkha Earthquake
～ Preliminary Understanding ～
ネパール国立トリブバン大学准教授・地盤防災研究センター地すべり部門長
愛媛大学防災情報研究センター客員准教授 Dahal Ranjan Kumar
 - ネパール地震から 5 ヶ月 ～復旧状況～
愛媛大学理工学研究科 准教授 ネットラ P.バンダリ
- 参加者：37 名

第2号議案 平成27年度 支部収支決算報告(案)

四国支部 正味財産増減予算書内訳表
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
四国支部（平成27年度）

(円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	751,800	721,676	0	0	1,473,476	0	1,473,476
調査研究・基準事業収益（公2）	0	751,800	0	0	0	751,800	0	751,800
学術講演会収益	0	160,500	0	0	0	160,500	0	160,500
見学会収益	0	40,000	0	0	0	40,000	0	40,000
技術研究発表会収益	0	273,300	0	0	0	273,300	0	273,300
研究会助成収益	0	278,000	0	0	0	278,000	0	278,000
研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
技術指導収益	0	0	0	0	0	0	0	0
技術推進事業収益（公3）	0	0	721,676	0	0	721,676	0	721,676
講習会収益	0	0	721,676	0	0	721,676	0	721,676
海外調査および国際セミナー・報告会収益	0	0	0	0	0	0	0	0
② 雑収益	0	0	0	0	70,212	70,212	70,212	140,425
受取利息	0	0	0	0	562	562	563	1,125
雑収益	0	0	0	0	69,650	69,650	69,650	139,300
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	602,000	602,000	1,118,000	1,720,000
本部交付金	0	0	0	0	602,000	602,000	1,118,000	1,720,000
経常収益計	0	751,800	721,676	0	672,212	2,145,688	1,188,213	3,333,901
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,480,272	713,779	8,750	0	2,202,801	0	2,202,801
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,480,272	0	0	0	1,480,272	0	1,480,272
学術講演会費	0	192,216	0	0	0	192,216	0	192,216
見学会費	0	21,886	0	0	0	21,886	0	21,886
技術研究発表会費	0	238,416	0	0	0	238,416	0	238,416
研究会助成金支出	0	1,018,640	0	0	0	1,018,640	0	1,018,640
研究事業支出	0	9,114	0	0	0	9,114	0	9,114
技術指導支出	0	0	0	0	0	0	0	0
技術推進事業費（公3）	0	0	713,779	0	0	713,779	0	713,779
講習会費	0	0	523,099	0	0	523,099	0	523,099
海外調査および国際セミナー・報告会	0	0	190,680	0	0	190,680	0	190,680
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	8,750	0	8,750	0	8,750
表彰事業	0	0	0	8,750	0	8,750	0	8,750
② 管理費	0	0	0	0	0	0	1,169,676	1,169,676
備人費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	44,888	44,888
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	176,900	176,900
通信費	0	0	0	0	0	0	72,899	72,899
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	45,360	45,360
HP管理費	0	0	0	0	0	0	32,400	32,400
雑費	0	0	0	0	0	0	397,229	397,229
経常費用計	0	1,480,272	713,779	8,750	0	2,202,801	1,169,676	3,372,477
当期経常増減額	0	△ 728,472	7,897	△ 8,750	672,212	△ 57,113	18,537	△ 38,576
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 728,472	7,897	△ 8,750	672,212	△ 57,113	18,537	△ 38,576
一般正味財産期首残高								6,817,102
一般正味財産期末残高								6,778,526
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,778,526

(円)

四国支部(平成27年度)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	1,473,476	767,300	706,176
調査研究・基準事業収益(公2)	751,800	528,300	223,500
学術講演会収益	160,500	0	160,500
見学会収益	40,000	20,000	20,000
技術研究発表会収益	273,300	203,300	70,000
研究会助成収益	278,000	272,000	6,000
技術指導収益	0	0	0
自然災害の調査・研究事業収益	0	33,000	△ 33,000
技術推進事業収益(公3)	721,676	239,000	482,676
講習会収益	721,676	208,000	513,676
海外調査および国際セミナー・報告会	0	31,000	△ 31,000
② 雑収益	140,425	124,428	15,997
受取利息	1,125	1,128	△ 3
雑収益	139,300	123,300	16,000
③ 他会計からの繰入額	1,720,000	1,660,000	60,000
本部交付金	1,720,000	1,660,000	60,000
経常収益計	3,333,901	2,551,728	782,173
(2) 経常費用			
① 事業費	2,202,801	1,720,971	481,830
調査研究・基準事業費(公2)	1,480,272	1,284,457	195,815
学術講演会費	192,216	0	192,216
見学会費	21,886	65,232	△ 43,346
技術研究発表会費	238,416	264,014	△ 25,598
技術指導費	0	0	0
受託事務手数料	0	0	0
研究会助成金支出	1,018,640	896,939	121,701
自然災害の調査・研究事業支出	9,114	58,272	△ 49,158
技術推進事業費(公3)	713,779	430,178	283,601
講習会費	523,099	213,732	309,367
海外調査および国際セミナー・報告会	190,680	216,446	△ 25,766
表彰関連事業(公4)	8,750	6,336	2,414
表彰事業	8,750	6,336	2,414
② 管理費	1,169,676	963,652	206,024
備人費	400,000	400,000	0
会議費	44,888	46,309	△ 1,421
旅費・交通費	176,900	103,600	73,300
通信費	72,899	75,039	△ 2,140
印刷費製本費	45,360	45,360	0
HP管理費	32,400	64,800	△ 32,400
雑費	397,229	228,544	168,685
経常費用計	3,372,477	2,684,623	687,854
当期経常増減額	△ 38,576	△ 132,895	94,319
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 38,576	△ 132,895	94,319
一般正味財産期首残高	6,817,102	6,949,997	△ 132,895
一般正味財産期末残高	6,778,526	6,817,102	△ 38,576
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,778,526	6,817,102	△ 38,576

平成28年4月4日

監 査 報 告 書

公益社団法人 地盤工学会 四国支部
支部長 中蘭 明広 殿

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

監 事 岩原 廣彦 
監 事 天羽 誠二 

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度における
会計及び業務の監査を行ない、次のとおり報告する。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、支部事務局から会計監査に関しての報告を受け、計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、支部事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査結果

- (1) 平成27年度一般会計の正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 支部役員の職務執行に関する不正の行為又は支部規定等に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 平成28年度 支部役員(案)

平成28年度 地盤工学会四国支部役員

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
支 部 長	岡 村 未 対	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9820 FAX 089-927-9820
副支部長	畠 中 秀 人	国土交通省 四国地方整備局 企画部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	浅 野 彰 洋	四国電力(株) 執行役員 土木建築部長 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
"	風 間 優	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
顧 問	石 橋 良 啓	国土交通省 四国地方整備局長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	柳 川 晃	(独)水資源機構 吉野川本部長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	別 枝 修	建設コンサルタンツ協会 四国支部長 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)四電技術コンサルタント 代表取締役社長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2205
"	噂 耕 司	四国地質調査業協会 理事長 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 青葉工業(株) 代表取締役 〒760-0074 高松市桜町1丁目17-3	TEL 087-862-5121 FAX 087-862-5120 TEL 087-862-8222 FAX 087-837-1807
"	矢 田 部 龍 一	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9817
"	長谷川 修 一	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2155 FAX 087-864-2031
"	末 澤 等	四国電力(株) 常務取締役 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
評議員	笹 原 克 夫	高知大学 教育研究部自然科学系 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5341 FAX 088-864-5341
"	岡 林 宏二郎	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 教授 〒783-8508 南国市物部乙200-1	TEL 088-864-5589 FAX 088-864-5589
"	渦 岡 良 介	徳島大学 大学院理工学研究部 教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7345 FAX 088-656-7345
"	山 中 稔	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2158 FAX 087-864-2188
"	小 林 範 之	愛媛大学 農学部利水環境工学研究室 教授 〒790-0905 松山市樽味3-5-7	TEL 089-946-9929 FAX 089-946-9929
"	小 竹 望	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3927 FAX 087-869-3929
"	吉 村 洋	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 教授 〒774-0017 阿南市見能林町青木265	TEL 0884-23-7186 FAX 0884-23-7199
"	安 部 賢	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
"	原 一 郎	徳島県 県土整備部長 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	葛 西 剛	香川県 土木部長 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
"	頼 木 清 隆	愛媛県 土木部長 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
"	福 田 敬 大	高知県 土木部長 〒780-8570 高知市丸の内1-2-20	TEL 088-823-9800 FAX 088-823-9263

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
評議員	松 永 佳 弘	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術審査役 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1903 FAX 087-823-3636
"	立 川 貴 重	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループリーダー 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
"	須 賀 幸 一	(株)芙蓉コンサルタント 技術本部長 〒790-0063 松山市辻町2-38	TEL 089-924-1313 FAX 089-923-5717
"	大 内 泰 志	(株)四国総合研究所 土木技術部上席研究員 〒761-0113 高松市屋島西町2109-8	TEL 050-8802-4672 FAX 087-887-0004
"	増 田 浩 正	四国地質調査業協会 理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 ㈱増田地質工業 代表取締役会長 〒760-0005 高松市宮脇町1丁目18番23号	TEL 087-821-4367 FAX 087-862-5120 TEL 087-862-5255 FAX 087-862-5201
"	神 野 邦 彦	四国地質調査業協会 副理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 ㈱愛媛建設コンサルタント 代表取締役 〒790-0036 松山市小栗7-11-8	TEL 087-821-4367 FAX 087-862-5120 TEL 089-847-1011 FAX 089-941-8606
"	辻 和 秀	建設コンサルタント協会 四国支部 理事 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)エイト日本技術開発四国支社 執行役員 四国支社長 〒790-0054 松山市空港通2-9-29	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 089-971-6511 FAX 089-973-3132
"	武 田 信 一	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 大成建設(株)四国支店 執行役員支店長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
"	川 崎 邦 彦	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 西松建設㈱ 四国支店 支店長 〒760-8503 高松市番町3-8-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-1471 FAX 087-837-4635
"	森 井 満 男	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 清水建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-8533 高松市寿町2-4-5	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-811-1805 FAX 087-811-1838
"	吉 見 和 行	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部・運営委員 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)奥村組 四国支店 支店長 〒760-0020 高松市錦町1-8-41	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
"	佐 藤 健 人	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)大林組 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-7121 FAX 087-837-3650
"	西 岡 義 則	四国建設業協会連合会 会長 〒790-0002 松山市二番町4丁目4-4	TEL 089-943-5324 FAX 089-933-0168
支部監事	天 羽 誠 二	四国建設コンサルタント(株)専務取締役 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	TEL 088-683-3322 FAX 088-683-3323
"	上 野 勝 利	徳島大学大学院理工学研究部 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7342 FAX 088-656-7342
幹 事 長	安 原 英 明	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9853 FAX 089-927-9817
事務局員	中 島 淳 子	愛媛大学 工学部環境建設工学科 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 090-6881-9036 FAX 089-927-9817
幹 事	野々村 敦 子	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2146 FAX 087-864-2188
"	ネトラ P. バンダリ	愛媛大学 大学院理工学研究科 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-8566 FAX 089-927-8566
"	原 忠	高知大学教育研究部自然科学系農学部 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5162 FAX 088-864-5162

役職	氏名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
幹事	向谷光彦	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3921 FAX 087-869-3929
"	新名 薫	国土交通省 四国地方整備局 企画部技術企画官 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	小田 幸伸	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 港湾事業企画課長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
"	佐野 功	徳島県 県土整備部 建設管理課 技術管理担当課長補佐 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	多田 康宏	香川県 土木部技術企画課課長補佐 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
"	吉良 美知宏	愛媛県 土木部 土木管理局 土木管理課 技術企画室 主幹 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
"	窪内 雅弘	高知県 土木部防災砂防課課長補佐 〒780-8570 高知市丸ノ内2-1-20	TEL 088-823-9845 FAX 088-823-9539
"	一ノ瀬 泰彦	(独) 水資源機構吉野川本部 管理調整課長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	宇高 幸生	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループ 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
"	紙田 直充	西日本高速道路(株) 四国支社 建設事業部 技術計画課長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1896 FAX 087-826-3057
"	田村 栄治	(株) 四電技術コンサルタント 土木事業部地質担当部長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-887-2290 FAX 087-887-2205
"	香川 年市	青葉工業(株) 取締役 高松営業所長 〒760-0074 高松市桜町1丁目17-3	TEL 087-862-8223 FAX 087-837-2807
"	尾崎 美伸	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 公共工事委員長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 営業統括部長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
"	神田 幸正	株式会社ビュー設計 技術部次長 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261番地	TEL 088-665-7360 FAX 088-665-7361
"	中根 久幸	(株) 地研 〒780-0974 高知市円行寺25番地	TEL 088-822-1535 FAX 088-820-7326
"	植田 昌宏	(株) チェリーコンサルタント 技術監 〒760-0073 高松市栗林町3-7-23	TEL 087-834-5111 FAX 087-831-3962
(徳島県) 地域幹事	前田 裕太	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課長 〒770-0803 徳島市上吉野町3-35	TEL 088-654-9611 FAX 088-654-9643
"	大野 誠彦	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所沿岸防災対策官 〒773-0001 小松島市小松島町字新港9-14	TEL 0885-32-3357 FAX 0885-35-0010
"	澤田 日出夫	西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所工務課長 〒770-0861 徳島市住吉5-1-30	TEL 088-626-5285 FAX 088-626-5691
"	小林 昌弘	(株) 基礎建設コンサルタント 技術部技術課長 〒779-3120 徳島市国府町南岩延883-92-5330	TEL 088-642-5330 FAX 088-642-4216
"	大藪 剛士	応用地質(株) 四国支社徳島支店 主担 〒770-0021 徳島市佐古一番町10番2号G2ビル3階	TEL 088-653-0125 FAX 088-653-0124
"	藤川 健太	四国建設コンサルタント(株) 道路・計画部設計3課係長 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	TEL 088-683-3392 FAX 088-683-3562
"	安芸 浩資	ニタコンサルタント(株) 771-0122 徳島市川内町鈴江西38-2	TEL 088-665-5550 FAX 088-665-0015
(高知県) 地域幹事	北川 誠純	国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所調査課長 〒780-8023 高知市六泉寺町96-7	TEL 088-832-0779 FAX 088-833-5357
"	岡崎 裕	国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所企画調整課長 〒781-0113 高知市種崎874	TEL 088-847-3512 FAX 088-837-3001
"	清水 博	高知市 都市建設部長 〒780-8571 高知市本町5-6-13	TEL 088-823-9216 FAX 088-823-9038
"	林 満年	応用地質(株) 高知支店 支店長 〒780-0901 高知市上町2-5-1 (臼井エステートビル3F)	TEL 088-855-3050 FAX 088-875-5066

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
(高知県) 地域幹事	奥 村 昌 史	(株)第一コンサルタンツ 設計一部地盤防災課係長 〒781-5105 高知市介良甲828-1	TEL 088-821-7770 FAX 088-821-7078
"	岡 崎 健一郎	(株)轟組 土木部防災担当部長 〒780-8006 高知市萩町1丁目5番13号	TEL 088-834-1016 FAX 088-834-1028
"	尾 川 七 瀬	(株)技研製作所 新工法開発部 実証科学課 主任 〒781-5195 高知市布師田3948-1	TEL 088-803-1256 FAX 088-803-1266
(愛媛県) 地域幹事	小 椋 卓 実	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港工事事務所企画調整課長 〒791-8058 松山市海岸通2426-1	TEL 089-951-0162 FAX 089-946-8010
"	篠 原 潤	カナン地質(株) 社長 〒791-1106 松山市今在家2-1-4	TEL 089-993-6711 FAX 089-993-6733
"	松 田 久 和	(株)シアテック 土木部調査設計二課 副課長 〒792-0003 新居浜市新田町3-1-39	TEL 0897-37-2797 FAX 0897-32-5979
(香川県) 地域幹事	尾 崎 美 伸	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 公共工事委員長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 営業統括部長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
"	田 村 彰 三	田村ボーリング(株) 専務取締役 〒760-0007 高松市中央町6-19-21	TEL 087-833-7878 FAX 087-834-4795
"	木 下 博 久	復建調査設計(株)四国支社 地盤技術課長 〒760-0020 高松市錦町1-4-40	TEL 087-826-1913 FAX 087-826-2026
"	増 田 剛 人	㈱増田地質工業 会社役員 〒760-0005 高松市宮脇町1丁目18番23号	TEL 087-862-5255 FAX 087-862-5201
"	内 田 純 二	西日本高速道路エンジニアリング四国(株) 土木事業本部調査設計部 〒760-0072 高松市花園町3-1-1	TEL 087-834-2413 FAX 087-834-1193
"	千 綿 康 平	大日本コンサルタント㈱四国支店 地域交通計画室係長 〒760-0026 高松市播磨町3-1マニユライフプレイス高松2F	TEL 087-811-0899 FAX 087-851-9311
"	安 藤 秀 一	(株)ウエスコ 地盤調査事業部 四国地盤調査課長 〒761-8055 高松市紙町494	TEL 087-864-9248 FAX 087-868-3037
"	鈴 木 麻里子	香川高等専門学校 助教 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3914 FAX 087-869-3921

第4号議案 平成28年度 支部事業計画(報告)

平成 28 年度 支部事業計画

1. 総会，役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 平成 28 年 4 月 22 日（金）16:00～17:00 レクザムホール（高松市）

- ① 平成 27 年度 特別表彰、支部表彰
- ② 平成 27 年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成 27 年度 支部収支決算報告（案），監査報告
- ④ 平成 28 年度 支部役員（案）
- ⑤ 平成 28 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 28 年度 支部収支予算

(2) 評議員会

第 1 回 平成 28 年 4 月 22 日（金）14:30～15:40 レクザムホール（高松市）

- ① 平成 28 年度 支部役員（案）
- ② 平成 27 年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成 27 年度 支部収支決算報告（案），監査報告
- ④ 平成 27 年度 特別表彰、支部表彰
- ⑤ 平成 28 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 28 年度 支部収支予算

第 2 回 平成 29 年 2 月（予定）

- ① 平成 28 年度 支部事業報告
- ② 平成 28 年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成 29 年度 支部役員案
- ④ 平成 29 年度 支部事業計画案
- ⑤ 平成 29 年度 支部予算案
- ⑥ その他

(3) 幹事会

3 回程度開催（第 1 回 平成 28 年 6 月予定）

2. 支部主催事業

(1) 平成28年度講習会 担当：香川大学

- 日 時：平成28年10月頃
- 場 所：高松市

(2) 平成28年度技術研究発表会 担当：愛媛大学

- 日 時：平成28年11月17日（木）～18日（金）
- 会 場：愛媛県久万高原町

(3) 平成28年度見学会 担当：愛媛大学

- 日 時：平成28年9月頃
- 場 所：愛媛県（鹿野川ダム）

(4) 学術講演会 担当：土木学会

(5) 地盤工学会四国支部 地盤地震防災研究委員会

- 1) 動的遠心模型実習（愛媛大学）
- 2) 研究委員会 3回程度（会場未定）

3. 各県地盤工学研究会

(1) 徳島県地盤工学研究会

- 1) 平成28年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム
 - 日 時：平成28年7月22日（金） 13:00～17:00
 - 場 所：徳島大学工学部 工業会館 メモリアルホール
- 2) 現場見学会
 - 日 時：平成28年11月頃
 - 場 所：未定（候補：高松自動車道4車線化）
- 3) 第1回 特別講演会
 - 日 時：平成29年1月頃
 - 場 所：徳島大学
- 4) サマースクール（意見交換会など）
 - 日 時：平成28年8月頃
 - 場 所：徳島大学

(2) 香川県地盤工学会

- 1) 第 1 回学術講演会
○日 時：平成 28 年 7 月頃
- 2) 第 2 回学術講演会
○日 時：平成 28 年 11 月頃
- 3) 技術セミナー
○日 時：随時開催

(3) 高知県地盤工学会

- 1) 第 3 回高知県地盤工学会「若手の会」(勉強会)
○日 時：平成 28 年 6 月
○場 所：未定
○内 容：未定
- 2) 第 39 回(平成 28 年度) 高知県地盤工学会 講演会
○日 時：平成 28 年 8 月
○会 場：未定
○内 容：未定
- 3) 第 40 回(平成 28 年度) 高知県地盤工学会 現地見学会
○日 時：平成 28 年 12 月
○場 所：未定
○内 容：未定

(4) 愛媛県地盤工学会

- 1) 愛媛県地盤工学会学術講演会 I
○日 時：平成 28 年 4 月 15 日(金) 14:00～16:00
○場 所：愛媛大学交友会館 2 階 サロン
○内 容：
The 2016 Meinung Earthquake caused damages in Taiwan with a special focus
on geotechnical aspect of damages
台湾国立高雄第一科技大学 盧 之偉
台湾南部地震における構造物被害と教訓
愛媛大学理工学研究科 森 伸一郎
- 2) 愛媛県地盤工学会学術講演会 II
○日 時：未定
○場 所：愛媛大学

第5号議案 平成28年度 支部収支予算(報告)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	280,000	210,000	0	0	490,000	0	490,000
調査研究・基準事業収益（公2）	0	280,000	0	0	0	280,000	0	280,000
学術講演会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0
見学会収益	0	20,000	0	0	0	20,000	0	20,000
技術研究発表会収益	0	260,000	0	0	0	260,000	0	260,000
技術推進事業収益（公3）	0	0	210,000	0	0	210,000	0	210,000
講習会収益	0	0	210,000	0	0	210,000	0	210,000
② 雑収益	0	0	0	0	90,400	90,400	90,400	180,800
受取利息	0	0	0	0	400	400	400	800
雑収益	0	0	0	0	90,000	90,000	90,000	180,000
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	591,500	591,500	1,098,500	1,690,000
本部交付金	0	0	0	0	591,500	591,500	1,098,500	1,690,000
経常収益計	0	280,000	210,000	0	681,900	1,171,900	1,188,900	2,360,800
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,250,000	715,387	15,000	0	1,980,387	0	1,980,387
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,250,000	0	0	0	1,250,000	0	1,250,000
学術講演会費	0	30,000	0	0	0	30,000	0	30,000
見学会費	0	70,000	0	0	0	70,000	0	70,000
技術研究発表会費	0	250,000	0	0	0	250,000	0	250,000
研究会助成金支出	0	800,000	0	0	0	800,000	0	800,000
研究事業支出	0	100,000	0	0	0	100,000	0	100,000
技術推進事業費（公3）	0	0	715,387	0	0	715,387	0	715,387
講習会費	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000
国内・海外調査およびセミナー・報告会	0	0	465,387	0	0	465,387	0	465,387
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
表彰事業	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
② 管理費	0	0	0	0	0	0	845,800	845,800
備入費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	30,000	30,000
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000
通信費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
事務局移転費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
HP管理費	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
雑費	0	0	0	0	0	0	85,800	85,800
経常費用計	0	1,250,000	715,387	15,000	0	1,980,387	845,800	2,826,187
当期経常増減額	0	△ 970,000	△ 505,387	△ 15,000	681,900	△ 808,487	343,100	△ 465,387
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 970,000	△ 505,387	△ 15,000	681,900	△ 808,487	343,100	△ 465,387
一般正味財産期首残高								6,778,526
一般正味財産期末残高								6,313,139
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,313,139

【参考資料】

① 平成 28 年度以降の事業予定

② 四国支部規定等

- ・ 地盤工学会四国支部規程 (平成 22 年 4 月 21 日制定)
- ・ 地盤工学会四国支部特別表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・ 地盤工学会四国支部年次表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・ 地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程
(平成 25 年 11 月 23 日改定)
- ・ 旅費，謝金等支払い内規 (平成 18 年 2 月 22 日評議員会了承)
- ・ 会計管理体制 (平成 12 年 9 月 25 日本部提出)
- ・ 各県地盤工学研究会助成内規 (平成 17 年 4 月 15 日評議員会了承)

H28年度以降の事業予定

・事務局等の分担履歴

年度	事務局	技術研究 発表会	講習会	見学会	学術講演会	四国建設広報 協議会	主要事業
H 2	愛媛大学			高知大学	土木学会		H. 1・・・30周年(四国地建)
H 3	四国電力	愛媛大学					
H 4	高知大学	徳島大学	四国電力		土木学会		全国大会(高知大学)
H 5	香川大学	高知大学					
H 6	徳島大学				土木学会		
H 7	香川大学	愛媛大学					
H 8	JH四国	徳島大学			土木学会		
H 9	愛媛大学						
H10	四国地建	高知大学			土木学会		IS-Shikoku(愛媛大学)
H11	四国電力	四国電力	四国電力		四国電力	愛媛大学	40周年(四国地建)
H12	高知大学	愛媛大学	JH四国	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H13	香川大学	高知大学	四電、香川大	高知大学	愛媛大学	徳島大学	全国大会(徳島大学)
H14	徳島大学	徳島大学	四国地整	徳島大学	土木学会	香川大学	
H15	JH四国	香川大学	JH四国	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(徳島大学)
H16	愛媛大学	愛媛大学	香川大、四電	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H17	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	愛媛大学	
H18	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	愛媛大学	
H19	香川大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	愛媛大学	
H20	徳島大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H21	NEXCO	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	愛媛大学	50周年記念事業
H22	愛媛大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	愛媛大学	全国大会(愛媛大学)
H23	四国電力	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(愛媛大学)
H24	四国地整	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H25	香川大学	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	香川大学	
H26	徳島大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	徳島大学	
H27	NEXCO	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	NEXCO	
★ H28	愛媛大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H29	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	徳島大学	四国地整	
H30	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	四国電力	全国大会(香川大学)
H31	高知大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専	高知大学	60周年記念事業

公益社団法人地盤工学会四国支部規程

(平成 22 年 4 月 21 日制定)

第 1 章 総 則

(支部の名称及び所在地)

第 1 条 公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という。）定款第 3 条に基づき四国地区に支部を設け、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という。）といい、事務局を四国地区に置く。

(支部規程の制定)

第 2 条 支部の運営に関しては、学会規則（以下「規則」という。）第 52 条の規定により、学会定款（以下「定款」という。）及び規則に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

(支部区域)

第 3 条 支部は、規則第 44 条に示す四国地区（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）在住の会員をもって組織する。

(地域会等)

第 4 条 支部は、支部発展のため各県に地盤工学会研究会を設置する。

(事業)

第 5 条 支部は、規則第 46 条に定める範囲において、定款第 5 条に定める事業のうち、支部に関する事業を行う。

第 2 章 支部役員

(支部役員)

第 6 条 支部に、次の支部役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	3 名
評 議 員	若干名
支 部 監 事	2 名
幹 事 長	1 名
幹 事	若干名

2 支部に顧問を置くことができる。

(支部役員の選任)

第 7 条 支部役員は、評議員会が支部内の正会員のうちから推薦し、支部総会の決議によって選任する。そのうち、支部長については、正会員から選任しなければならない、その余の者は特段の事情があれば正会員以外から選任することができる。

2 支部役員が任期中に欠けたときは、次期定例支部総会までの残任期間中に限り、欠員としてその後任者を評議員会において選任することができる。

3 顧問は、支部長が任免する。

(支部役員の任期)

第 8 条 支部役員の任期は 1 年とし、支部役員は再任を妨げない。

2 前項の任期 1 年とは、定例支部総会から翌年の定例支部総会終結時までとする。

3 支部役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

4 顧問の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 欠員として選任された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(支部役員等の職務)

第 9 条 支部長は、支部を代表し、その会務を総理する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故ある時には、その職務を代行する。

3 評議員は、支部に関する重要事項を評議する。

4 支部監事は、支部の会計及び支部役員の業務執行状況等を監査する。

5 幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。

6 顧問は、支部役員の諮問に応ずる。

(支部役員の解任)

第 10 条 支部役員は、支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員の報酬)

第 11 条 支部役員は、無報酬とする。

第3章 支部代議員

(支部代議員候補者の選考)

- 第12条 支部は、定款第7条及び代議員選挙規則により、支部代議員候補者の選考を行う。
2 支部代議員候補者は、評議員会にて選考する。

第4章 会 議

(会議)

- 第13条 支部の会議は、支部総会、評議員会、幹事会及び支部委員会とする。

(支部総会)

- 第14条 支部総会は、規則第47条の規定により、支部に所属する会員をもって構成する。
2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に定例支部総会を招集する。また、必要に応じて臨時支部総会を招集する。
3 支部総会の議長は、支部長がこれに当たる。
4 支部総会は、次の事項について決議する。ただし、支部総会の議事は、予め評議員会の承認を必要とする。
(1) 支部役員の選任または解任
(2) 事業報告及び決算報告の承認
(3) 支部規程その他の規程の変更
(4) その他、評議員会で認めた事項
5 支部総会は、支部に所属するすべての会員の委任状を含む20分の1以上の出席をもって成立する。
6 委任状は、当該議事につき、書面をもって、支部総会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。
7 支部総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(評議員会)

- 第15条 評議員会は、評議員をはじめとする支部役員をもって構成し、議長は支部長がこれに当たる。
2 評議員会のうち、1回は毎事業年度開始1ヶ月前までに支部長が招集する。ただし、支部長が必要と認めた場合には、招集しなければならない。
3 評議員会は、次の事項を審議する。
(1) 事業報告及び決算
(2) 事業計画及び予算
(3) 規程等の制定及び変更
(4) 第7条に基づく支部役員の推薦または選出
(5) その他、会務運営上の事項
4 評議員会は、評議員の委任状を含む過半数の出席をもって成立する。
5 委任状は、当該議事につき、書面をもって、評議員会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。
6 評議員会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(幹事会)

- 第16条 幹事会は、幹事長及び幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。
2 幹事会は、年3回程度開催し、幹事長が招集する。
3 幹事会は、評議員会に付議する事業計画、その他会務運営等に関する事項を策定する。

(支部委員会)

- 第17条 支部長は、調査・研究のために必要があるときは、支部委員会を設置することができる。

第5章 会 計

(支部の事業年度)

- 第18条 定款第43条に基づき、支部の事業年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終る。

(支部の経費)

- 第19条 規則第51条に基づき、支部の経費は、交付金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(支部の事業計画及び収支予算)

- 第20条 支部の事業計画及び収支予算は、毎事業年度開始1ヶ月前までに評議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届出て、理事会の承認を得なければならない。
2 支部長は、理事会が承認した事業計画及び収支予算を定例支部総会に報告しなければならない。

(支部の事業報告及び収支決算)

- 第21条 支部の事業報告及び収支決算は、毎事業年度終了後、支部監事の監査を受けた上で、評議員会

- の議決を経て定例支部総会の承認を受けなければならない。
- 2 支部長は、毎事業年度終了後 1 ヶ月以内に事業報告及び収支決算報告を会長に届出て、理事会の議決を経て総会の承認を得なければならない。

第 6 章 支部表彰

- 第 22 条 支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者に対して、支部は別途定める規程に基づき表彰することができる。

第 7 章 支部規程の改廃

- 第 23 条 この規程を改廃しようとするときは、評議員会の議決を経て、支部総会の承認を得なければならない。
- 2 支部長は、この規程の変更を行う場合、予め理事会の承認を得なければならない。

付 則

この規程は、平成 22 年 11 月 1 日から施行する。

地盤工学会四国支部特別表彰規程

平成11年4月21日制定

平成20年1月8日改定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部（以下「支部」という）規程第22条に基づき、支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者を表彰するために定めたものである。

(対象)

第2条 表彰は、表彰授与当該年度を除く過去10会計年度における以下に掲げる功績を対象とする。但し、同一の事項について、本部表彰の履歴のある者は対象外とする。

(功労賞)

第3条 功労賞は、支部の発展及び支部並びに本部の主催する重要な行事の実施にあたり、顕著な貢献をしたと認められる者に授与するものとする。

(技術開発賞)

第4条 技術開発賞は、地盤工学における新技術の開発及びその実用化等で顕著な貢献をし、地盤工学の発展を通じて社会に貢献したと認められる者に授与するものとする。

(技術功労賞)

第5条 技術功労賞は、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、地道な実務の積み重ねを通じて地盤工学の進歩発展に功労があった者に授与するものとする。

(賞の授与年度)

第6条 賞は、10年に一度、支部発足10年毎の節目の年度に授与するものとする。

(選考委員会及び賞の決定方法)

第7条 賞選考委員会（以下「委員会」という）において賞を選考する。

第8条 委員会は、支部の10周年毎の記念事業実行委員会委員（以下「実行委員会」という）で構成される。

2. 委員会の長は、実行委員長が兼任する。

3. 実行委員会を設けない場合の委員会委員は、支部役員の中から5人以内で支部長が委員を選定し、委嘱する。

第9条 賞の受賞候補者は、支部役員が委員会に推薦理由を付して推薦し、委員会で決定するものとする。

(表彰の時期及び表彰方法)

第10条 表彰は、支部の10周年毎の記念行事（以下「記念行事」という）の席において賞状及び副賞を授与して行う。

2. 記念行事を行わない場合は、10周年毎の当該年度内において、支部長の指定する日に表彰式を行うものとする。

(附則)

この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部年次表彰規程

平成20年1月8日制定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部(以下「支部」という)規程第22条に基づき、地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために定めたものである。

(表彰対象)

第2条 表彰は「地盤工学会四国支部賞(以下、四国支部賞という)」を授与して行う。四国支部賞は、原則として四国支部の会員による次のいずれかに該当する業績を対象として、個人(複数可)または団体に授与する。

(1) 技術賞

四国地域で実施され、四国支部における技術研究発表会等で発表された調査、設計及び施工等の個別技術に係る業績

(2) 技術開発賞

活用性、汎用性に優れた技術の開発及び実用化等

(3) 研究・論文賞

四国支部および各県の地盤工学会研究会で発表された創造性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文及び研究報告等

(4) 功績賞

① 地盤工学会四国支部の活動に永年従事し、学会の進歩、発展、運営に顕著な貢献をしたと認められる業績等

② 地盤工学会四国支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

③ 地盤工学会四国支部の広報ならびに社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

第3条 四国支部賞は第2条の各項目の名称を「四国支部賞(賞名)」と称する。各部門について該当者のいない場合には授与を見送る。

第4条 受賞者は原則として四国支部に所属する会員または特別会員とする。

(表彰委員会)

第5条 四国支部賞を選考する表彰委員会(以下「委員会」という)を設置する。

第6条 委員会は委員長、幹事1名、委員4名とする。

第7条 委員長は支部長とする。

第8条 幹事、委員は委員長が選任する。

(応募)

第9条 四国支部賞の応募は別途定める「応募推薦要領」による。

(審査及び決定)

第10条 応募業績の審査及び受賞業績の決定は委員会で行う。

(表彰)

第11条 総会において支部長が賞状を授与する。

(附則)

第12条 この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程

平成 11 年 4 月 21 日制定
平成 20 年 1 月 8 日改定
平成 23 年 4 月 26 日改定
平成 25 年 11 月 23 日改定

(目的)

第 1 条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、地盤工学会四国支部規程第 22 条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

(受賞対象者)

第 2 条 受賞対象者は以下のとおりとする。

- (1)地盤工学会の個人会員であること。
- (2)大学および高等専門学校等の教員でないこと。
- (3)過去 5 年以内に受賞していないこと。
- (4)当該年度の 4 月 1 日時点で 40 歳未満であること。
- (5)発表者数の概ね 10%程度の人数を表彰する。

(審査方法)

第 3 条 賞を選考するために、論文審査委員会（以下「委員会」という）を設置する。2. 委員会は、委員長および委員 4 名の計 5 名で構成する。委員長は幹事長とし、委員は幹事長が選任する。採点委員は、委員会が選任する。

3. 口頭発表は 3 名以上の採点委員で採点を行う。
4. 採点項目は、(1) 発表内容、(2) 発表技術、(3)発表時間、(4)質疑応答の 4 項目とする。
5. 採点委員は、採点結果を委員会に提出する。委員会は、提出された採点結果を基に受賞者を選出する。
6. 委員長は、支部幹事会に受賞者を報告する。

(表彰方法)

第 4 条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

(附則)

この規程は、平成 25 年 11 月 23 日より施行する。

地盤工学会四国支部旅費、謝金等支払い内規

1. 謝金：本部内規に準じて支給する（平成10年11月30日理事会暫定改正）
 （ ）はH10年度

項目	支給単位	支給額
講師料	講演時間60分まで10分ごとに	2,500 円
	講演時間60分を越え10分増すごとに	2,000 円
	（講演時間 1 時間あたり ）	（14,000 円）
特別講師	講演時間60分まで	15,000 円
	講演時間60分を越え30分増すごとに	10,000 円
	（講演時間1時間あたり ）	（30,000 円）
原稿料	会誌1ページ相当 （ワープロ仕上げ）	2,500 円
	講習会テキスト書き下ろし原稿用紙1枚	（2,400 円） 920 円
アルバイト	1日あたり	7,000 円
		（ 同 上 ）
	1時間当たり	900 円
		（ 同 上 ）

2. 旅費：本部旅費支給規程(H15.12.19改正に準じる)

・原則として要求がある場合に支給する。

① 交通費

・タクシー等自動車を利用した車賃は支給しない。

ただし、特別な事情でやむを得ず自動車を利用した場合の車賃は実費額とする。

・勤務個所および会場から最寄りのJR駅まで、JR以外の交通機関を利用する場合の運賃は一律1,000円とする。

・航空機利用の場合は航空運賃を支給する。この場合、空港の最寄りのJR駅から空港までの交通機関利用料金一律1,000円、東京空港と会場最寄駅までの交通機関利用料金一律1,000円とする。

・主な地域からの例（通常期の場合、繁忙期、閑散期は別途考慮）

高松での幹事会等への出席

・高松市内から 2,000円（市内交通費）

・高松市外から 3,000円

②日 当：1,800円（片道120km以上の場合）

③宿泊費：9,000円（実費がこれ以上の場合は別途協議）

ただし、上記内容が所属機関の旅費規程等と相違があり、申し出があった場合は所属機関の規程から算出した金額を支給する。

（平成18年2月22日評議員会承認）

地盤工学会四国支部会計管理体制〔留意事項〕

1. 支部交付金は支部が開設した専用口座を設けて対応する。
2. 支部会計の通帳および現金を保管する場所は、関係者以外は自由には出入りできない旋錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは旋錠できる什器内とする。
3. 通帳と印鑑、カードは別々に保管する。
4. 通帳には印を押さない。もしくは押さないようにしてもらう。
5. カードには暗証番号を付記しない。
6. カードは原則、支部会計責任者が保持し、保管する場合には前記、通帳・現金の保管場所と同様、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは施錠できる什器内とする。
7. 支部会計責任者は定期的に口座の残金を確認する。

(平成12年9月25日本部提出書類より)

各県地盤工学会助成内規

1. 助成方法

各県地盤工学会の事業を行う費用の一部を負担する。負担額は各年度の事業計画に計上する。

2. 使途

助成金は、各県地盤工学会が地盤工学会員に対して事業を行うための費用にすることが出来る。

3. 報告

各地盤工学会は、地盤工学会四国支部に事業内容の報告を会計年度中に行う。

(平成17年4月15日評議員会承認)